

静岡市立清水病院の概要

(1) 沿革

- 昭和 8 年 清水市立病院（元清見潟病院）を開設
 平成元年 清水市立病院開院（350床）
 平成 3 年 500床に増床
 平成14年 新館増築、災害拠点病院指定、回復期リハビリテーション病棟開設
 平成15年 合併に伴い静岡市立清水病院に名称変更、臨床研修病院指定
 平成23年 地域医療支援病院に承認
 平成25年 DMAT（災害派遣医療チーム）に登録

(2) 現況

病 床 数	500床（うち回復期リハビリ病床：54）		
診療科目	26科目		
職 員 数	26年11月1日現在		
	医師	67人	医師数に、後期研修医 13 人を含む。
	臨床研修医	2人	
	看護師	308人	
	医療技術員	101人	
	事務員	28人	
(医療秘書	18人)		

- ・ 医師、看護師、栄養士、事務の職員数が全国平均に比べ少ない状況にあります。
- ・ 薬剤師、放射線技士、検査技師については、全国平均の人員となっています。

(3) 患者数

(入院患者数)

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延 入 院 患 者 数	147,025人	147,024人	140,034人	134,375人
病 床 利 用 率	80.6%	80.3%	76.7%	73.6%
1 日 平 均 患 者 数	402.8人	401.7人	383.7人	368.2人

(外来患者数)

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延 外 来 患 者 数	237,928人	231,277人	233,064人	225,998人
1 日 平 均 患 者 数	979.1人	947.9人	951.3人	926.2人

患者数が減少してきている主な要因

- ・ 医師、看護師等医療スタッフの不足
- ・ 入院患者については、DPC導入に伴い在院日数が短縮傾向にあること。
- ・ 医師不足により救急当番日の対応日数が少なくなっていること。
- ・ 外来患者では循環器内科医師の退職等から平成26年度中に開業医または他の総合病院に受け入れ要請を行ってきたことが減少した主な理由となります。

(4) 地域別来院患者数

(入院患者数)

項目	男	女	合計	割合
清水区	61,495人	67,077人	128,572人	96%
葵区	828人	428人	1,256人	1%
駿河区	765人	912人	1,677人	1%
静岡県(静岡市を除く)	1,022人	882人	1,904人	1%
静岡県外	429人	537人	966人	1%
計	64,539人	69,836人	134,375人	100%

(外来患者数)

項目	男	女	合計	割合
清水区	98,293人	115,263人	213,556人	94%
葵区	1,247人	1,637人	2,884人	1%
駿河区	1,703人	1,966人	3,669人	2%
静岡県(静岡市を除く)	1,343人	2,414人	3,757人	2%
静岡県外	713人	1,419人	2,132人	1%
計	103,299人	122,699人	225,998人	100%

- ・ 患者の約95%が清水区民であり、患者全体の半数以上は65歳以上となっています。

(5) その他

清水区における平成25年度中の3公的病院での患者数割合をみると、清水病院が占める割合は入院で70%、外来で59%となっており、清水区の中核病院として機能していることが分かります。

(6) 課題及び取組み

《集中治療室の整備》

平成23～24年度 基本設計、実施設計

平成25～26年度 建設工事

平成27年度 稼動(6床)

《老朽化に伴う施設改修工事》

清水病院は平成元年に建設されており、築25年を超え老朽化による修繕の必要箇所も発生してきていることから、計画的な施設修繕が必要となってきています。

《医師、看護師の確保》

- ・ 大学医局への働きかけはもちろん、新たな取組みによる施策や制度設計を策定
- ・ 高度医療に対応できる機能(医療機器)の整備
- ・ 医療秘書の採用による医師の負担軽減
- ・ 女性が働きやすい環境の整備(多様な勤務形態、院内保育所の充実)